



鈴木貴晶
自由クラブ

予防接種の助成について

問 インフルエンザ予防接種への助成は高齢者のみではなく、受験生にも拡大できないか。

答 インフルエンザ以外にも様々な任意予防接種があり、限りある財源の中、どの予防接種に助成をしていくのかについては、優先度等を踏まえ検討していきたいと考える。

問 新型コロナウイルスワクチン接種について、受験生への助成の考えを伺う。

答 豊明市が中学3年生と定期接種以外で基礎疾患を有する人を対象に公費助成を予定しているという。またインフルエンザ予防接種と比較して接種費用も高額であるため経済的な負担は大きいことも認識している。



で、今後は、高齢者以外の必要な人に対する接種費用の助成について検討していきたいと考える。

蒲郡でスポーツ等をする環境づくり

問 スポーツ合宿について、法改正により、現地向かうバスの運賃が高騰している課題に対し、バス料金の助成を宿泊助成とともに行うことについて、市の考えを伺う。

答 過去には蒲郡市観光バスツアー助成制度を行ったが、今後、スポーツ合宿等に伴うバス助成制度についても検討していきたいと考える。



伊藤享佑
市政クラブ

急傾斜地対策について

問 8月27日の夜に竹谷町大久古地内で発生した土砂崩れによる災害対応について伺う。

答 今回の台風10号は、市で初めて災害救助法が適用され、本市消防本部のほか県内23消防本部、消防団、警察、自衛隊、国土交通省中部地方整備局、民間の災害救助犬や土木建設業者と救助を行った。引き続き被災された人の生活再建に向け、県と連携し対応していく。

物資供給マニュアルについて

問 緊急通行車両等運送業者の登録状況について伺う。

答 緊急通行車両の標章等は、災害対策基本法施行令等の一部改正に伴い、災害発生前で



も、標章及び証明書の交付が可能となった。指定公共機関、指定地方公共機関の指定の事業者は、事業所単位での登録が可能であるが、登録状況の把握はしていない。

要配慮者支援について

問 介護サービス利用者の直接避難の仕組みについて伺う。

答 本市では利用者の直接避難の方法を採用していないが、介護サービス事業者の協力により、避難ルール等が整備できれば、関係機関等の負担も分散され避難先としても有効であると思われる。



鈴木基夫
自由クラブ

共創のまちづくりについて

問 サークキュラシティーをテーマとするCO-INEXTの現状について伺う。

答 CO-INEXTは、大学等が中心となつて未来のありたい社会像を策定し、その実現に向けた研究開発を推進するとともに、持続的に成果を創出する、産学官の共創の場形成支援プログラムである。名古屋大学が拠点ビジョンを「消費から「変環」へ」とし、使われない資源エネルギーを変換と循環をする取組を進めている。この取組が、本市のサーキュラシティーの考え方と同じことから、大学と意見交換しながら、地域特性を生かした社会実験等の検討を進めている。

問 イネーブリング・シティをテーマにつながつた関心共同体について伺う。

答 横浜市立大学の武部教授が進める「幸福と健康の双方を促す仕掛けが実装された都市（イネーブリング・シティ）」の実現に向け、大学との共同研究による取組を進めている。

また、東京藝術大学の桐山教授やアートの専門家から、アートコミュニケーションの特性を生かしながら共生社会の実現を目指す取組を紹介してもらった。今後は東京藝術大学と関わりながら共創していく可能性もあるのではないかと感じている。



サーキュラー
シティ
蒲郡
CIRCULAR
CITY
GAMAGORI